

注3

大学番号：私129

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

明星大学 心理学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明星学苑
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 教務企画課

職名・氏名 キョウムキカクカチョウ 教務企画課長 クマガイ 熊谷 タカシ 孝

電話番号 042-591-5212

（夜間） 042-591-5212

F A X 042-591-5940

e-mail gad-eduml@ml.meisei-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

<心理学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明星学苑

(2) 大学名

明星大学

(3) 大学の位置

〒191-8506
東京都日野市程久保2丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ モトカズ) 吉田 元一 (平成24年11月22日)		
学長	(オオハシ トモヒロ) 大橋 有弘 (平成26年4月1日)		
学部長	(サカイ アツシ) 境 敦史 (平成29年4月1日)		
学科長等	(コヌキ サトル) 小貫 悟 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	120人	- 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 (-) [-]	-	120 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-	1.11倍	
志願者数	1196 (-) [1]	- (-) [-]	1466 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	1143 (-) [1]	- (-) [-]	1408 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	360 (-) [0]	- (-) [-]	262 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	140 (-) [0]	- (-) [-]	129 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.16		1.07		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [-] (-)	0 [-] (-)	129 [-] (-)	0 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		138 [-] (-)	0 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)
計			140 [-] (-)	267 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	140 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、進路変更(1人)
平成30年度	267 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			平成31年度	— 人	— 人	
平成32年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			平成31年度	— 人	— 人	
			平成32年度	— 人	— 人	
合計	— 人	2 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{140} = \boxed{1.42} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{267} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	自立と体験1	1前	2			2							
	哲学1	1前		2								1	
	哲学2	1後		2								1	
	倫理学1	1前		2								1	
	倫理学2	1後		2								1	
	論理学1	1前		2								1	
	論理学2	1後		2								1	
	宗教学1	1前		2								1	
	宗教学2	1後		2								1	
	美学1	1前		2								1	
	美学2	1後		2								1	
	心理学1	1前		2								1	
	心理学2	1後		2								1	
	教育学1	1前		2								1	
	教育学2	1後		2								1	
	倫理学3	2前		2								1	
	倫理学4	2後		2								1	
	美学3	2前		2								1	
	美学4	2後		2								1	
	哲学3	2前		2								1	
	哲学4	2後		2								1	
	思想への招待	1前		2								1	
	健康・スポーツ科学論	1前後	2									3	
	健康・スポーツ演習1	1前後	1									7	
	健康・スポーツ演習2	2前後		1								7	
	健康・スポーツ演習3	3前後		1								7	
	健康・スポーツ演習4	4前後		1								7	
全学共通科目	外国語(英語)1A	1前		1								5	
	外国語(英語)1B	1前		1								5	
	外国語(英語)2A	1後		1								5	
	外国語(英語)2B	1後		1								5	
	外国語(ドイツ語)1A	1前		1								1	
	外国語(ドイツ語)1B	1前		1								1	
	外国語(ドイツ語)2A	1後		1								1	
	外国語(ドイツ語)2B	1後		1								1	
	外国語(フランス語)1A	1前		1								1	
	外国語(フランス語)1B	1前		1								1	
	外国語(フランス語)2A	1後		1								1	
	外国語(フランス語)2B	1後		1								1	
	外国語(中国語)1A	1前		1								1	
	外国語(中国語)1B	1前		1								1	
	外国語(中国語)2A	1後		1								1	
	外国語(中国語)2B	1後		1								1	
	外国語(韓国語)1A	1前		1								1	
	外国語(韓国語)1B	1前		1								1	
	外国語(韓国語)2A	1後		1								1	
	外国語(韓国語)2B	1後		1								1	
	日本語1A	1前		1									1
	日本語1B	1前		1									1
	日本語2A	1後		1									1
	日本語2B	1後		1									1
	情報リテラシーa	1前	2										1
	情報リテラシーb	1後	2										1
	言語学1	1前		2									1
	言語学2	1後		2									1
言葉の思想	1前		2									1	
科学コミュニケーション論	1前		2									1	
映画と音楽で学ぶ英語	1前		2									1	
異文化体験	1前		2									1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	自立と体験1	1前	2							1		1	
	哲学1	1前		2								1	
	哲学2	1後		2								1	
	倫理学1	1前		2								1	
	倫理学2	1後		2								1	
	論理学1	1前		2								1	
	論理学2	1後		2								1	
	宗教学1	1前		2								1	
	宗教学2	1後		2								1	
	美学1	1前		2								1	
	美学2	1後		2								1	
	心理学1	1前		2								1	
	心理学2	1後		2								1	
	教育学1	1前		2								1	
	教育学2	1後		2								1	
	倫理学3	2前		2								1	
	倫理学4	2後		2								1	
	美学3	2前		2								1	
	美学4	2後		2								1	
	哲学3	2前		2								1	
	哲学4	2後		2								1	
	思想への招待(未開講)	1前		2								1	
	健康・スポーツ科学論	1前後	2									3	
	健康・スポーツ演習1	1前後	1									7	
	健康・スポーツ演習2	2前後		1								7	
	健康・スポーツ演習3	3前後		1								7	
	健康・スポーツ演習4	4前後		1								7	
全学共通科目	外国語(英語)1A	1前		1								5	
	外国語(英語)1B	1前		1								5	
	外国語(英語)2A	1後		1								5	
	外国語(英語)2B	1後		1								5	
	外国語(ドイツ語)1A	1前		1								1	
	外国語(ドイツ語)1B	1前		1								1	
	外国語(ドイツ語)2A	1後		1								1	
	外国語(ドイツ語)2B	1後		1								1	
	外国語(フランス語)1A	1前		1								1	
	外国語(フランス語)1B	1前		1								1	
	外国語(フランス語)2A	1後		1								1	
	外国語(フランス語)2B	1後		1								1	
	外国語(中国語)1A	1前		1								1	
	外国語(中国語)1B	1前		1								1	
	外国語(中国語)2A	1後		1								1	
	外国語(中国語)2B	1後		1								1	
	外国語(韓国語)1A	1前		1								1	
	外国語(韓国語)1B	1前		1								1	
	外国語(韓国語)2A	1後		1								1	
	外国語(韓国語)2B	1後		1								1	
	日本語1A	1前		1									1
	日本語1B	1前		1									1
	日本語2A	1後		1									1
	日本語2B	1後		1									1
	情報リテラシーa	1前	2										1
	情報リテラシーb	1後	2										1
	言語学1	1前		2									1
	言語学2	1後		2									1
言葉の思想	1前		2									1	
科学コミュニケーション論	1前		2									1	
映画と音楽で学ぶ英語	1前		2									1	
異文化体験	1前		2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	異文化で学ぶ英語	1後	2								1
	外国語(英語)3A	2前	1								5
	外国語(英語)3B	2前	1								5
	外国語(英語)4A	2後	1								5
	外国語(英語)4B	2後	1								5
	外国語(ドイツ語)3A	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)3B	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)4A	2後	1								1
	外国語(ドイツ語)4B	2後	1								1
	外国語(フランス語)3A	2前	1								1
	外国語(フランス語)3B	2前	1								1
	外国語(フランス語)4A	2後	1								1
	外国語(フランス語)4B	2後	1								1
	外国語(中国語)3A	2前	1								1
	外国語(中国語)3B	2前	1								1
	外国語(中国語)4A	2後	1								1
	外国語(中国語)4B	2後	1								1
	外国語(韓国語)3A	2前	1								1
	外国語(韓国語)3B	2前	1								1
	外国語(韓国語)4A	2後	1								1
	外国語(韓国語)4B	2後	1								1
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	上級英語1	3前	1								1
	上級英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	3前	1								1
	上級ドイツ語2	3後	1								1
	上級フランス語1	3前	1								1
	上級フランス語2	3後	1								1
	上級中国語1	3前	1								1
	上級中国語2	3後	1								1
	上級韓国語1	3前	1								1
	上級韓国語2	3後	1								1
	上級英語3	4前	1								1
	上級英語4	4後	1								1
	上級ドイツ語3	4前	1								1
	上級ドイツ語4	4後	1								1
	上級フランス語3	4前	1								1
	上級フランス語4	4後	1								1
	上級中国語3	4前	1								1
	上級中国語4	4後	1								1
	上級韓国語3	4前	1								1
	上級韓国語4	4後	1								1
日本事情1	1前	2								1	
日本事情2	1後	2								1	
外国事情1	1前	2								1	
外国事情2	1後	2								1	
日本の文学1	1前	2								1	
日本の文学2	1後	2								1	
外国の文学1	1前	2								1	
外国の文学2	1後	2								1	
文化人類学1	1前	2								1	
文化人類学2	1後	2								1	
人文科学論1	1前	2								1	
人文科学論2	1後	2								1	
日本史1	1前	2								1	
日本史2	1後	2								1	
西洋の歴史と文化1	1前	2								1	
西洋の歴史と文化2	1後	2								1	
中国の歴史と文化1	1前	2								1	
中国の歴史と文化2	1後	2								1	
考古学1	1前	2								1	
考古学2	1後	2								1	
日本の芸能1	1前	2								1	
日本の芸能2	1後	2								1	
日本民俗学1	1前	2								1	
日本民俗学2	1後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	異文化で学ぶ英語	1後	2								1
	外国語(英語)3A	2前	1								5
	外国語(英語)3B	2前	1								5
	外国語(英語)4A	2後	1								5
	外国語(英語)4B	2後	1								5
	外国語(ドイツ語)3A	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)3B	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)4A	2後	1								1
	外国語(ドイツ語)4B	2後	1								1
	外国語(フランス語)3A	2前	1								1
	外国語(フランス語)3B	2前	1								1
	外国語(フランス語)4A	2後	1								1
	外国語(フランス語)4B	2後	1								1
	外国語(中国語)3A	2前	1								1
	外国語(中国語)3B	2前	1								1
	外国語(中国語)4A	2後	1								1
	外国語(中国語)4B	2後	1								1
	外国語(韓国語)3A	2前	1								1
	外国語(韓国語)3B	2前	1								1
	外国語(韓国語)4A	2後	1								1
	外国語(韓国語)4B	2後	1								1
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	上級英語1	3前	1								1
	上級英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	3前	1								1
	上級ドイツ語2	3後	1								1
	上級フランス語1	3前	1								1
	上級フランス語2	3後	1								1
	上級中国語1	3前	1								1
	上級中国語2	3後	1								1
	上級韓国語1	3前	1								1
	上級韓国語2	3後	1								1
	上級英語3	4前	1								1
	上級英語4	4後	1								1
	上級ドイツ語3	4前	1								1
	上級ドイツ語4	4後	1								1
	上級フランス語3	4前	1								1
	上級フランス語4	4後	1								1
	上級中国語3	4前	1								1
	上級中国語4	4後	1								1
	上級韓国語3	4前	1								1
	上級韓国語4	4後	1								1
日本事情1	1前	2								1	
日本事情2	1後	2								1	
外国事情1	1前	2								1	
外国事情2	1後	2								1	
日本の文学1	1前	2								1	
日本の文学2	1後	2								1	
外国の文学1	1前	2								1	
外国の文学2	1後	2								1	
文化人類学1	1前	2								1	
文化人類学2	1後	2								1	
人文科学論1	1前	2								1	
人文科学論2	1後	2								1	
日本史1	1前	2								1	
日本史2	1後	2								1	
西洋の歴史と文化1	1前	2								1	
西洋の歴史と文化2	1後	2								1	
中国の歴史と文化1	1前	2								1	
中国の歴史と文化2	1後	2								1	
考古学1	1前	2								1	
考古学2	1後	2								1	
日本の芸能1	1前	2								1	
日本の芸能2	1後	2								1	
日本民俗学1	1前	2								1	
日本民俗学2	1後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	自然科学史	1前	2								1	
	図像学	1前	2								1	
	人文科学論3	2前	2								1	
	人文科学論4	2後	2								1	
	日本史3	2前	2								1	
	日本史4	2後	2								1	
	社会の仕組みと人間の営み1	1前	2								1	
	社会の仕組みと人間の営み2	1後	2								1	
	法学1	1前	2								1	
	法学2(日本国憲法)	1後	2								1	
	現代政治を読み解く1	1前	2								1	
	現代政治を読み解く2	1後	2								1	
	社会科学論1	1前	2								1	
	社会科学論2	1後	2								1	
	国際関係論1	1前	2								1	
	国際関係論2	1後	2								1	
	21世紀経済への視点1	1前	2								1	
	21世紀経済への視点2	1後	2								1	
	グローバル時代の経営1	1前	2								1	
	グローバル時代の経営2	1後	2								1	
	情報社会文化論1	1前	2								1	
	情報社会文化論2	1後	2								1	
	生涯学習論1	1前	2								1	
	生涯学習論2	1後	2								1	
	図書館の基礎と展望	1前	2								1	
	社会に生きる私たちの人権	1前	2								1	
	女性の生き方	1後	2								1	
	地図を読む	1前	2								1	
	ボランティア論	1前後	2								1	
	情報法制論	2前	2								1	
	地球惑星学1	1前	2								1	
	地球惑星学2	1後	2								1	
	科学技術論1	1前	2								1	
	科学技術論2	1後	2								1	
統計学1	1前	2								1		
統計学2	1後	2								1		
基礎数学1	1前	2								1		
基礎数学2	1後	2								1		
生物学1	1前	2								1		
生物学2	1後	2								1		
物理学1	1前	2								1		
物理学2	1後	2								1		
化学1	1前	2								1		
化学2	1後	2								1		
自然科学入門1	1前	2								1		
自然科学入門2	1後	2								1		
生物学3	2前	2								1		
生物学4	2後	2								1		
人類と環境	2前	2								1		
特別講義1	1前	2								1		
特別講義2	1前	1								1		
特別講義3	1後	2								1		
特別講義4	1後	1								1		
全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後		2							3	
	自立と体験4	3前		2							3	
	ボランティア実践1	2前		1							1	
	ボランティア実践2	2後		1							1	
	キャリアデザイン1	1後		2							2	
	キャリアデザイン2	2後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	自然科学史	1前	2								1	
	図像学	1前	2								1	
	人文科学論3	2前	2								1	
	人文科学論4	2後	2								1	
	日本史3	2前	2								1	
	日本史4	2後	2								1	
	社会の仕組みと人間の営み1	1前	2								1	
	社会の仕組みと人間の営み2	1後	2								1	
	法学1	1前	2								1	
	法学2(日本国憲法)	1後	2								1	
	現代政治を読み解く1	1前	2								1	
	現代政治を読み解く2	1後	2								1	
	社会科学論1	1前	2								1	
	社会科学論2	1後	2								1	
	国際関係論1	1前	2								1	
	国際関係論2	1後	2								1	
	21世紀経済への視点1	1前	2								1	
	21世紀経済への視点2	1後	2								1	
	グローバル時代の経営1	1前	2								1	
	グローバル時代の経営2	1後	2								1	
	情報社会文化論1	1前	2								1	
	情報社会文化論2	1後	2								1	
	生涯学習論1	1前	2								1	
	生涯学習論2	1後	2								1	
	図書館の基礎と展望	1前	2								1	
	社会に生きる私たちの人権	1前	2								1	
	女性の生き方	1後	2								1	
	地図を読む	1前	2								1	
	ボランティア論	1前後	2								1	
	情報法制論	2前	2								1	
	地球惑星学1	1前	2								1	
	地球惑星学2(未開講)	1後	2								1	
	科学技術論1	1前	2								1	
	科学技術論2	1後	2								1	
統計学1	1前	2								1		
統計学2	1後	2								1		
基礎数学1	1前	2								1		
基礎数学2	1後	2								1		
生物学1	1前	2								1		
生物学2	1後	2								1		
物理学1	1前	2								1		
物理学2	1後	2								1		
化学1	1前	2								1		
化学2	1後	2								1		
自然科学入門1	1前	2								1		
自然科学入門2	1後	2								1		
生物学3	2前	2								1		
生物学4	2後	2								1		
人類と環境	2前	2								1		
特別講義1(未開講)	1前	2								1		
特別講義2(未開講)	1前	1								1		
特別講義3(未開講)	1後	2								1		
特別講義4(未開講)	1後	1								1		
全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後		2							3	
	自立と体験4	3前		2							3	
	ボランティア実践1	2前		1							1	
	ボランティア実践2	2後		1							1	
	キャリアデザイン1	1後		2							2	
	キャリアデザイン2	2後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	自立と体験2	1後	2			7	4			1		
	心理学概論A	1前後	2							1		
	心理学概論B	1前後	2			1						
	心理統計法1	1前	2				1					5
	心理統計法2	1後	2				1					5
	心理学研究法	1前後	2			4	1					
	心理学実験法	2前後	2			1						4
	心理学実験法実習	2前後	2			1						4
	心理学検査法	2前後	2									6
	心理学検査法実習	2前後	2									6
	比較心理学	1前後		2			1					
	産業心理学	1前後		2			1					
	児童心理学	1前後		2								1
	障害児(者)心理学	1前後		2			1					
	基礎臨床心理学	1前後		2			1					
	性格心理学	1前後		2			1					
	知覚心理学	2前後		2			1					
	学習心理学	2前後		2						1		
	神経心理学	2前後		2			1					
	社会心理学	2前後		2			1					
	青年心理学	2前後		2			1					
	生涯発達心理学	2前後		2			1					
	発達臨床心理学	2前後		2			1					
	学校臨床心理学	2前後		2				1				
	聴知覚心理学	3前		2			1					
	運動視知覚心理学	3後		2							1	
	実験的行動分析学	3前		2						1		
	比較認知科学	3後		2				1				
	認知神経心理学	3前		2			1					
	臨床神経心理学	3後		2							1	
	社会的認知論	3前		2			1					
	社会行動論	3後		2							1	
	消費者行動論	3前		2				1				
	組織心理学	3後		2							1	
	心理学調査法	3前		2			1				3	
	人間関係発達論	3前		2							1	
	カウンセリング技法論	3前		2			1					
	カウンセリング実践論	3後		2							1	
	認知行動療法技法論	3前		2				1				
	認知行動療法実践論	3後		2							1	
犯罪心理学	3前		2							1		
性格心理学実践論	3前		2							1		
心理臨床支援技法論	3前		2			1						
こども心理療法論	3後		2							1		
応用行動分析学	3前		2				1					
社会環境行動論	3後		2							1		
発達障害児教育論	3後		2			1						
発達障害者自立支援論	3後		2			1						
心理面接実習	3前後		2							3		
臨床心理学概論	3前		2			3	2					
精神医学概論	3後		2							1		
心理臨床・実践職能論	3後		2			1	1					
心理学で拓くキャリア	3前		2			1	1					
専門演習1A	3前	1				7	4		1			
専門演習1B	3後	1				7	4		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	自立と体験2	1後	2					8	6			
	心理学概論A	1前後	2						1			
	心理学概論B	1前後	2					1				
	心理統計法1	1前	2						1			5
	心理統計法2	1後	2						1			5
	心理学研究法	1前後	2					4	1			
	心理学実験法	2前後	2					1	1			4
	心理学実験法実習	2前後	2					1	1			4
	心理学的アセスメント	2前後	2									6
	心理学的アセスメント実習	2前後	2									6
	比較心理学	1前後		2					1			
	産業・組織心理学	1前後		2					1			
	児童心理学	1前後		2								1
	障害者・障害児心理学	1前後		2					1			
	健康・医療心理学	1前後		2					1			
	感情・人格心理学	1前後		2					1			
	知覚・認知心理学	2前後		2					1			
	学習・言語心理学	2前後		2						1		
	神経・生理心理学	2前後		2					1			
	社会・集団・家族心理学	2前後		2					1			
	青年心理学	2前後		2					1			
	発達心理学	2前後		2					1			
	発達臨床心理学	2前後		2					1			
	福祉心理学	2前後		2								1
	教育・学校心理学	2前後		2					1			
	聴知覚心理学	3前		2					1			
	運動視知覚心理学	3後		2							1	
	実験的行動分析学	3前		2						1		
	比較認知科学	3後		2					1			
	認知神経心理学	3前		2					1			
	臨床神経心理学	3後		2							1	
	社会的認知論	3前		2					1			
	社会行動論	3後		2						1		
	消費者行動論	3前		2						1		
	心理学調査法	3前		2					1	1		2
	人間関係発達論	3前		2							1	
	カウンセリング技法論	3前		2					1			
	カウンセリング実践論	3後		2							1	
	認知行動療法技法論	3前		2						1		
	認知行動療法実践論	3後		2							1	
司法・犯罪心理学	3前		2							1		
性格心理学実践論	3前		2							1		
心理学的支援法	3前		2					1				
こども心理療法論	3後		2							1		
応用行動分析学	3前		2						1			
社会環境行動論	3後		2							1		
発達障害児教育論	3後		2					1				
発達障害者自立支援論	3後		2					1				
心理演習	3前後		2								3	
臨床心理学概論	3前		2					3	2			
精神疾患とその治療	3後		2								1	
公認心理師の職責	3後		2					1	1			
関係行政論	3前		2								1	
人体の構造と機能及び疾病	3前後		2								1	
心理実習	3選		2					4	2			
心理学で拓くキャリア	3前		2					1	1			
専門演習1A	3前	1						8	6			
専門演習1B	3後	1						8	6			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	専門演習2A	4前	1			7	4		1		
	専門演習2B	4後	1			7	4		1		
	卒業研究	4通	8			7	4		1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	専門演習2A	4前	1			8	6				
	専門演習2B	4後	1			8	6				
	卒業研究	4通	8			8	6				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	自立と体験1	1前	2			1						1
	哲学1	1前		2								1
	哲学2	1後		2								1
	倫理学1	1前		2								1
	倫理学2	1後		2								1
	論理学1	1前		2								1
	論理学2	1後		2								1
	宗教学1	1前		2								1
	宗教学2	1後		2								1
	美学1	1前		2								1
	美学2	1後		2								1
	心理学1	1前		2								1
	心理学2	1後		2								1
	教育学1	1前		2								1
	教育学2	1後		2								1
	倫理学3	2前		2								1
	倫理学4	2後		2								1
	美学3	2前		2								1
	美学4	2後		2								1
	哲学3	2前		2								1
	哲学4	2後		2								1
	思想への招待	1前		2								1
	健康・スポーツ科学論	1前後	2									3
	健康・スポーツ演習1	1前後	1									7
	健康・スポーツ演習2	2前後		1								7
	健康・スポーツ演習3	3前後		1								7
	健康・スポーツ演習4	4前後		1								7
	外国語(英語)1A	1前		1								5
	外国語(英語)1B	1前		1								5
	外国語(英語)2A	1後		1								5
	外国語(英語)2B	1後		1								5
	外国語(ドイツ語)1A	1前		1								1
	外国語(ドイツ語)1B	1前		1								1
	外国語(ドイツ語)2A	1後		1								1
	外国語(ドイツ語)2B	1後		1								1
	外国語(フランス語)1A	1前		1								1
	外国語(フランス語)1B	1前		1								1
	外国語(フランス語)2A	1後		1								1
	外国語(フランス語)2B	1後		1								1
	外国語(中国語)1A	1前		1								1
	外国語(中国語)1B	1前		1								1
	外国語(中国語)2A	1後		1								1
	外国語(中国語)2B	1後		1								1
	外国語(韓国語)1A	1前		1								1
	外国語(韓国語)1B	1前		1								1
	外国語(韓国語)2A	1後		1								1
	外国語(韓国語)2B	1後		1								1
	日本語1A	1前		1								1
	日本語1B	1前		1								1
	日本語2A	1後		1								1
日本語2B	1後		1								1	
情報リテラシーa	1前	2									1	
情報リテラシーb	1後	2									1	
言語学1	1前		2								1	
言語学2	1後		2								1	
言葉の思想	1前		2								1	
科学コミュニケーション論	1前		2								1	
映画と音楽で学ぶ英語	1前		2								1	
異文化体験	1前		2								1	
異文化で学ぶ英語	1後		2								1	
外国語(英語)3A	2前		1								5	
外国語(英語)3B	2前		1								5	
外国語(英語)4A	2後		1								5	
外国語(英語)4B	2後		1								5	
外国語(ドイツ語)3A	2前		1								1	
外国語(ドイツ語)3B	2前		1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	外国語(ドイツ語)4A	2後		1							1
	外国語(ドイツ語)4B	2後		1							1
	外国語(フランス語)3A	2前		1							1
	外国語(フランス語)3B	2前		1							1
	外国語(フランス語)4A	2後		1							1
	外国語(フランス語)4B	2後		1							1
	外国語(中国語)3A	2前		1							1
	外国語(中国語)3B	2前		1							1
	外国語(中国語)4A	2後		1							1
	外国語(中国語)4B	2後		1							1
	外国語(韓国語)3A	2前		1							1
	外国語(韓国語)3B	2前		1							1
	外国語(韓国語)4A	2後		1							1
	外国語(韓国語)4B	2後		1							1
	日本語3A	2前		1							1
	日本語3B	2前		1							1
	日本語4A	2後		1							1
	日本語4B	2後		1							1
	上級英語1	3前		1							1
	上級英語2	3後		1							1
	上級ドイツ語1	3前		1							1
	上級ドイツ語2	3後		1							1
	上級フランス語1	3前		1							1
	上級フランス語2	3後		1							1
	上級中国語1	3前		1							1
	上級中国語2	3後		1							1
	上級韓国語1	3前		1							1
	上級韓国語2	3後		1							1
	上級英語3	4前		1							1
	上級英語4	4後		1							1
	上級ドイツ語3	4前		1							1
	上級ドイツ語4	4後		1							1
	上級フランス語3	4前		1							1
	上級フランス語4	4後		1							1
	上級中国語3	4前		1							1
	上級中国語4	4後		1							1
	上級韓国語3	4前		1							1
	上級韓国語4	4後		1							1
	日本事情1	1前		2							1
	日本事情2	1後		2							1
	外国事情1	1前		2							1
	外国事情2	1後		2							1
	日本の文学1	1前		2							1
	日本の文学2	1後		2							1
	外国の文学1	1前		2							1
	外国の文学2	1後		2							1
	文化人類学1	1前		2							1
	文化人類学2	1後		2							1
	人文科学論1	1前		2							1
	人文科学論2	1後		2							1
日本史1	1前		2							1	
日本史2	1後		2							1	
西洋の歴史と文化1	1前		2							1	
西洋の歴史と文化2	1後		2							1	
中国の歴史と文化1	1前		2							1	
中国の歴史と文化2	1後		2							1	
考古学1	1前		2							1	
考古学2	1後		2							1	
日本の芸能1	1前		2							1	
日本の芸能2	1後		2							1	
日本民俗学1	1前		2							1	
日本民俗学2	1後		2							1	
自然科学史	1前		2							1	
図像学	1前		2							1	
人文科学論3	2前		2							1	
人文科学論4	2後		2							1	
日本史3	2前		2							1	
日本史4	2後		2							1	
社会の仕組みと人間の営み1	1前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	社会の仕組みと人間の営み2	1後		2								1
	法学1	1前		2								1
	法学2(日本国憲法)	1後		2								1
	現代政治を読み解く1	1前		2								1
	現代政治を読み解く2	1後		2								1
	社会科学論1	1前		2								1
	社会科学論2	1後		2								1
	国際関係論1	1前		2								1
	国際関係論2	1後		2								1
	21世紀経済への視点1	1前		2								1
	21世紀経済への視点2	1後		2								1
	グローバル時代の経営1	1前		2								1
	グローバル時代の経営2	1後		2								1
	情報社会文化論1	1前		2								1
	情報社会文化論2	1後		2								1
	生涯学習論1	1前		2								1
	生涯学習論2	1後		2								1
	図書館の基礎と展望	1前		2								1
	社会に生きる私たちの人権	1前		2								1
	女性の生き方	1後		2								1
	地図を読む	1前		2								1
	ボランティア論	1前後		2								1
	情報法制論	2前		2								1
	地球惑星学1	1前		2								1
	地球惑星学2	1後		2								1
	科学技術論1	1前		2								1
	科学技術論2	1後		2								1
	統計学1	1前		2								1
	統計学2	1後		2								1
	基礎数学1	1前		2								1
	基礎数学2	1後		2								1
	生物学1	1前		2								1
	生物学2	1後		2								1
	物理学1	1前		2								1
	物理学2	1後		2								1
	化学1	1前		2								1
	化学2	1後		2								1
	自然科学入門1	1前		2								1
	自然科学入門2	1後		2								1
	生物学3	2前		2								1
	生物学4	2後		2								1
	人類と環境	2前		2								1
	特別講義1	1前		2								1
	特別講義2	1前		1								1
特別講義3	1後		2								1	
特別講義4	1後		1								1	
全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後		2								3
	自立と体験4	3前		2								3
	ボランティア実践1	2前		1								1
	ボランティア実践2	2後		1								1
	キャリアデザイン1	1後		2								2
	キャリアデザイン2	2後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	自立と体験2	1後	2			7	4		1			
	心理学概論A	1前後	2						1			
	心理学概論B	1前後	2			1						
	心理統計法1	1前	2				1					5
	心理統計法2	1後	2				1					5
	心理学研究法	1前後	2			4	1					
	心理学実験法	2前後	2			1						4
	心理学実験法実習	2前後	2			1						4
	心理学検査法	2前後	2									6
	心理学検査法実習	2前後	2									6
	比較心理学	1前後		2			1					
	産業心理学	1前後		2			1					
	児童心理学	1前後		2								1
	障害児(者)心理学	1前後		2			1					
	基礎臨床心理学	1前後		2			1					
	性格心理学	1前後		2								1
	知覚心理学	2前後		2			1					
	学習心理学	2前後		2						1		
	神経心理学	2前後		2			1					
	社会心理学	2前後		2			1					
	青年心理学	2前後		2			1					
	生涯発達心理学	2前後		2			1					
	発達臨床心理学	2前後		2			1					
	学校臨床心理学	2前後		2				1				
	聴知覚心理学	3前		2			1					
	運動視知覚心理学	3後		2								1
	実験的行動分析学	3前		2						1		
	比較認知科学	3後		2				1				
	認知神経心理学	3前		2			1					
	臨床神経心理学	3後		2								1
	社会的認知論	3前		2			1					
	社会行動論	3後		2								1
	消費者行動論	3前		2				1				
	組織心理学	3後		2								1
	心理学調査法	3前		2			1					3
	人間関係発達論	3前		2								1
	カウンセリング技法論	3前		2			1					
	カウンセリング実践論	3後		2								1
	認知行動療法技法論	3前		2				1				
	認知行動療法実践論	3後		2								1
	犯罪心理学	3前		2								1
	性格心理学実践論	3前		2								1
	心理臨床支援技法論	3前		2			1					
	こども心理療法論	3後		2								1
	応用行動分析学	3前		2				1				
	社会環境行動論	3後		2								1
	発達障害児教育論	3後		2			1					
	発達障害者自立支援論	3後		2			1					
	心理面接実習	3前後		2								3
	臨床心理学概論	3前		2			3	2				
精神医学概論	3後		2								1	
心理臨床・実践職能論	3後		2			1	1					
心理学で拓くキャリア	3前		2			1	1					
専門演習1A	3前	1				7	4		1			
専門演習1B	3後	1				7	4		1			
専門演習2A	4前	1				7	4		1			
専門演習2B	4後	1				7	4		1			
卒業研究	4通	8				7	4		1			

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教員間の負担格差解消のため、「自立と体験1」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「性格心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。

【平成30年度】

- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「自立と体験2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授6」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「心理学概論A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理統計法1」から「心理学統計法1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理統計法2」から「心理学統計法2」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学実験法」から「心理学実験」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学実験法実習」から「心理学実験実習」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学実験実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学検査法」から「心理的アセスメント」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学検査法実習」から「心理的アセスメント実習」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「産業心理学」から「産業・組織心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「障害児(者)心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「基礎臨床心理学」から「健康・医療心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「性格心理学」から「感情・人格心理学」に変更。
- ・教育効果向上のため、「感情・人格心理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「知覚心理学」から「知覚・認知心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「学習心理学」から「学習・言語心理学」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「学習・言語心理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「神経心理学」から「神経・生心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「社会心理学」から「社会・集団・家族心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「生涯発達心理学」から「発達心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「福祉心理学」を新設。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「学校臨床心理学」から「教育・学校心理学」に変更。
- ・専任専任教員職位変更のため、「実験的行動分析学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果向上のため、「社会行動論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学調査法」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「犯罪心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理臨床支援技法論」から「心理学的支援法」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理面接実習」から「心理演習」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「精神医学概論」から「精神疾患とその治療」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理臨床・実践職能論」から「公認心理師の職責」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「関係行政論」を新設。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「人体の構造と機能及び疾病」を新設。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「心理実習」を新設。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習1A」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習1B」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習2A」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習2B」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	219 科目	6 科目	245 科目	20 科目 [0]	222 科目 [3]	6 科目 [0]	248 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	思想への招待	2	1前	一般	選択	科目担当者負担軽減のため、平成30年度は未開講とした。学生の履修機会を保障するため、平成31年度は開講予定。
2	地球惑星学2	2	1後	一般	選択	科目担当者負担軽減のため、平成30年度は未開講とした。学生の履修機会を保障するため、平成31年度は開講予定。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	組織心理学	2	3後	専門	選択	公認心理師国家資格対応のため、「組織心理学」を廃止し、「産業・組織心理学」として、「産業心理学」と統合した。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 「思想への招待」は、科目担当者負担軽減のため、平成30年度はやむを得ず未開講とした。全学共通科目の選択科目ではあるが、学生の履修機会を保障するため、平成31年度は開講予定である。また、学生へは新年度はじめのガイダンス資料で2019年度未開講であることを周知している。
 ・ 「地球惑星学2」は、科目担当者負担軽減のため、平成30年度はやむを得ず未開講とした。全学共通科目の選択科目ではあるが、学生の履修機会を保障するため、平成31年度は開講予定である。また、学生へは新年度はじめのガイダンス資料で平成30年度未開講であることを周知している。
 ・ 「組織心理学」は、公認心理師国家資格対応のために、科目統合をした。学生へは新年度はじめのガイダンス資料で「産業・組織心理学」としての開講を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{245} = \boxed{1.22\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	197,697㎡	0㎡	0㎡	197,697㎡	・日野校
		683,812㎡	0㎡	0㎡	683,812㎡	・青梅校
	運 動 場 用 地	74,314㎡	0㎡	0㎡	74,314㎡	・日野校
		94,320㎡	0㎡	0㎡	94,320㎡	・青梅校
	小 計	272,011㎡	0㎡	0㎡	272,011㎡	・日野校
		778,132㎡	0㎡	0㎡	778,132㎡	・青梅校
	そ の 他	17,243㎡	0㎡	0㎡	17,243㎡	・日野校
18,621㎡		0㎡	0㎡	18,621㎡	・青梅校	
合 計	1,086,007㎡	0㎡	0㎡	1,086,007㎡	大学全体	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	179,251㎡ (179,251㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	179,251㎡ (179,251㎡)	・日野校	
	32,714㎡ (32,714㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	32,714㎡ (32,714㎡)	・青梅校	
	211,965㎡ (211,965㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	211,965㎡ (211,965㎡)	大学全体	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	92室	230室 229室 179室	244室 231室	19室 (補助職員6人)	1室 2室 (補助職員2人)	・日野校 既存演習室を2分割したため (30) 教室等の用途の見直し及び変 更による増減(29)
	23室	8室	36室	1室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)	・青梅校
	115室	238室 237室 187室	280室 267室	20室 (補助職員6人)	1室 2室 (補助職員2人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			
	心理学部 心理学科		14 13 室			教員採用のため(30)

(5)	新設学部等の名称	図書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標本	点	点	点	学術雑誌の見直しおよび、電子ジャーナル契約パッケージの減少。 (30) (図書、学術雑誌) 図書、学術雑誌ともに重複タイトルの見直しを含めて資料を精選した結果、当初予定数値より減少。(29) 大学全体での共用分 図書：870,513冊 [279,861冊] 学術雑誌：11,751種 [11,108種]
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
図書・設備	心理学部 心理学科	25,600 [5,150]	647 [545]	261 [261]	85	1,100	2				
		(24,548 [5,122])	(624 [518])	(247 [247])		(1,125)					
		(23,870 [5,089])	(623 [521])	(249 [249])	(92)	(1,109)	(3)				
		(24,000 [5,100])	(647 [545])	(261 [261])	(75)	(1,100)	(2)				
(6)	図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		(閲覧座席数) 閲覧座席増設による増加 (30) (収納可能冊数) 書架増設による増加 (30) (収納可能冊数) 資料図書館開館に伴う増加 (29)			
		16,865 m ²		862 席 847 席		1,563,400 冊 1,562,200 冊 1,526,000 冊					
(7)	体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				・日野校 ・青梅校 大学全体			
		8,006m ²		野球場、テニスコート							
		4,928m ²		野球場、テニスコート							
合計		12,934m ²									
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全体 図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む 設備購入費は大学全体		
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	45,000千円	45,000千円	45,000千円			
		共同研究費等	40,000千円	40,000千円	設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円			
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入及び私立大学等経常経費補助金等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	明星大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
(学部) 理工学部									
総合理工学科	4	400	—	1,600	学士(理学) 学士(工学) 学士(理学)	1.03 1.03	平成22年度	東京都日野市 程久保2丁目 1番地1	
化学科	4	—	—	—		—	昭和39年度		平成22年より4月学生募集停止(化学科)
人文学部									
国際コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士(国際コミュニケーション学)	1.23	平成17年度		
人間社会学科	4	80	—	320	学士(社会学)	1.10	昭和40年度		
心理学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	平成22年度		平成29年より学生募集停止(心理学科)
日本文化学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.17	平成22年度		
福祉実践学科	4	60	—	240	学士(社会福祉学)	1.09	平成22年度		
経済学部									
経済学科	4	260	—	1,120	学士(経済学)	1.09 1.09	平成13年度		平成29年より入学定員変更(経済学科300→260)
経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	平成17年度		平成24年より学生募集停止(経営学科)
情報学部									
情報学科	4	140	—	560	学士(情報)	1.08 1.08	平成17年度		
造形芸術学部									
造形芸術学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成17年度		平成26年より学生募集停止(造形芸術学部造形芸術学科)
教育学部									
教育学科	4	350	—	1,340	学士(教育学)	1.18 1.18	平成22年度		平成29年より入学定員変更(教育学科320→350)
経営学部									
経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.13 1.13	平成24年度		
デザイン学部									
デザイン学科	4	120	—	480	学士(デザイン学)	1.07 1.07	平成26年度		
心理学部									
心理学科	4	120	—	240	学士(心理学)	1.11 1.11	平成29年度		

(通信教育部) 教育学部									
教育学部 教育学科 (通信課程)	4	2,000	—	8,000	学士(教育学)	0.04	平成22年度		
人文学部						—			
心理・教育学部 (通信課程)	4	—	—	—	学士(教育学)	—	昭和42年度		平成22年より学生募集停止(人文学部心理・教育学部通信課程)
(大学院)									
理工学研究科 (博士前期課程)						0.35		東京都日野市 程久保2丁目 1番地1	
物理学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.30	昭和54年度		
化学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.50	昭和48年度		
機械工学専攻	2	10	—	20	修士(工学)	0.40	昭和55年度		
電気工学専攻	2	10	—	20	修士(工学)	0.15	昭和54年度		
建築・建設工学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.50	平成20年度		
環境システム学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.30	平成20年度		
(博士後期課程)						0.06			
物理学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.00	昭和56年度		
化学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.33	昭和51年度		
機械工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.00	昭和57年度		
電気工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.00	昭和56年度		
建築・建設工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.00	平成20年度		
環境システム学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成20年度		
人文学研究科 (博士前期課程)						0.43			
英米文学専攻	2	10	—	20	修士(英米文学)	0.15	昭和58年度		
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.00	昭和46年度		
心理学専攻	2	10	—	20	修士(心理学)	1.15	昭和49年度		
教育学専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	昭和47年度		平成26年4月より学生募集停止(教育学専攻)
(博士後期課程)						0.22			
英米文学専攻	3	3	—	9	博士(英米文学)	0.11	昭和63年度		
社会学専攻	3	3	—	9	博士(社会学)	0.11	昭和51年度		
心理学専攻	3	3	—	9	博士(心理学)	0.44	昭和53年度		
教育学専攻	3	—	—	—	博士(教育学)	—	昭和49年度		平成26年4月より学生募集停止(教育学専攻)
経済学研究科 (修士課程)						0.20			
応用経済学専攻	2	10	—	20	修士(応用経済学)	0.20	平成18年度		
情報学研究科 (博士前期課程)						0.85			

情報学専攻	2	7	—	14	修士(情報学)	0.85	平成10年度	
(博士後期課程)						0.11		
情報学専攻	3	3	—	9	博士(情報学)	0.11	平成12年度	
教育学研究科								
(博士前期課程)						0.15		
教育学専攻	2	10	—	20	修士(教育学)	0.15	平成26年度	
(博士後期課程)						0.11		
教育学専攻	3	3	—	9	博士(教育学)	0.11	平成26年度	
(通信制大学院)								平成26年より人文学 研究科教育学専攻を 教育学研究科へ名称 変更 (教育学専攻通信課 程)
教育学研究科						0.58		
(博士前期課程)						0.58	平成11年度	
教育学専攻(通信課程)	2	30	—	60	修士(教育学)	0.58	平成11年度	
(博士後期課程)						0.99		
教育学専攻(通信課程)	3	3	—	9	博士(教育学)	0.99	平成18年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授(学部長)	境 敦史 (55) <平成29年4月> 自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 知覚心理学 聴覚心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授(学部長)	境 敦史 (55) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 知覚心理学 聴覚心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授(学部長)	境 敦史 (56) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 知覚・認知心理学 聴覚心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	教授	石井 雄吉 (62) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 基礎臨床心理学 性格心理学 心理臨床支援技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	石井 雄吉 (62) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 基礎臨床心理学 心理臨床支援技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	石井 雄吉 (63) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 健康・医療心理学 心理学的支援法 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	教授	岡林 秀樹 (52) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 生涯発達心理学 心理学調査法 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	岡林 秀樹 (52) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 生涯発達心理学 心理学調査法 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	岡林 秀樹 (53) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学研究法※ 発達心理学 心理学調査法 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	教授	小貫 悟 (49) <平成29年4月> 自立と体験2 発達臨床心理学 発達障害児教育論 発達障害者自立支援論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	小貫 悟 (49) <平成29年4月> 自立と体験2 発達臨床心理学 発達障害児教育論 発達障害者自立支援論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	小貫 悟 (50) <平成29年4月> 自立と体験2 発達臨床心理学 発達障害児教育論 発達障害者自立支援論 臨床心理学概論※ 公認心理師の職業 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	教授	柴崎 光世 (46) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学概論B 神経心理学 認知神経心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	柴崎 光世 (46) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学概論B 神経心理学 認知神経心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	柴崎 光世 (47) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学概論B 神経・生理心理学 認知神経心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
						専	教授	富田 新 (55) <平成30年4月> 自立と体験2 感情・人格心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	教授	林 幹也 (41) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学実験法 心理学実験法実習 社会心理学 社会的認知論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	林 幹也 (41) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学実験法 心理学実験法実習 社会心理学 社会的認知論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	専	教授	林 幹也 (42) <平成29年4月> 自立と体験2 心理学実験 心理学実験実習 社会・集団・家族心理学 社会的認知論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
	担当授業科目名			
専	教授	福田 憲明 (57) <平成29年4月>	福田 憲明 (57) <平成29年4月>	福田 憲明 (58) <平成29年4月>
		自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	尾野 裕美 (41) <平成29年4月>	尾野 裕美 (41) <平成29年4月>	尾野 裕美 (42) <平成29年4月>
		自立と体験2 産業心理学 消費者行動論 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 産業心理学 消費者行動論 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 産業・組織心理学 心理学調査法 消費者行動論 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
				佐藤 拓 (38) <平成30年4月>
				自立と体験2 心理学実験 心理学実験実習 社会行動論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	竹内 康二 (39) <平成29年4月>	竹内 康二 (39) <平成29年4月>	竹内 康二 (40) <平成29年4月>
		自立と体験2 心理学研究法※ 障害児(者)心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理学研究法※ 障害児(者)心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理学研究法※ 障害児・障害児心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	茅野 一穂 (54) <平成29年4月>	茅野 一穂 (54) <平成29年4月>	茅野 一穂 (55) <平成29年4月>
		自立と体験2 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理学統計法1 心理学統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	藤井 靖 (38) <平成29年4月>	藤井 靖 (38) <平成29年4月>	藤井 靖 (39) <平成29年4月>
		自立と体験2 学校臨床心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 学校臨床心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 教育・学校心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 公認心理師の職責 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	助教	丹野 貴行 (37) <平成29年4月>	丹野 貴行 (37) <平成29年4月>	丹野 貴行 (38) <平成29年4月>
		自立と体験2 心理学概論A 学習心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理学概論A 学習心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	自立と体験2 心理学概論A 学習・言語心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
兼任	教授	今福 一寿 (58) <平成29年4月>	今福 一寿 (58) <平成29年4月>	今福 一寿 (59) <平成29年4月>
		健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
	担当授業科目名			
兼任	教授	榎本 立雄 (64) <平成29年4月> 情報リテラシーa 情報リテラシーb	榎本 立雄 (64) <平成29年4月> 情報リテラシーa 情報リテラシーb	兼任 教授 榎本 立雄 (65) <平成29年4月> 情報リテラシーa 情報リテラシーb
兼任	教授	片山 文保 (66) <平成29年4月> 哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2	片山 文保 (66) <平成29年4月> 哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2	兼任 教授 片山 文保 (67) <平成29年4月> 哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2
兼任	教授	金子 敬二 (63) <平成29年4月> 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	金子 敬二 (63) <平成29年4月> 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	兼任 教授 金子 敬二 (64) <平成29年4月> 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	金子 慶之 (51) <平成29年4月> 地球惑星学2	金子 慶之 (51) <平成29年4月> 地球惑星学2	兼任 教授 金子 慶之 (52) <平成29年4月> 地球惑星学2
兼任	教授	神山 敬章 (65) <平成29年4月> 生涯学習論1 生涯学習論2	神山 敬章 (65) <平成29年4月> 生涯学習論1 生涯学習論2	兼任 教授 神山 敬章 (66) <平成29年4月> 生涯学習論1 生涯学習論2
兼任	教授	菊地 滋夫 (51) <平成29年4月> 文化人類学1 文化人類学2	菊地 滋夫 (51) <平成29年4月> 文化人類学1 文化人類学2	
兼任	教授	清田 洋一 (61) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A	清田 洋一 (61) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A	兼任 教授 清田 洋一 (62) <平成29年4月> 外国語(英語)2A 外国語(英語)4A
			兼任 教授 黒岩 誠 (69) <平成29年4月> 性格心理学	
兼任	教授	河内山 晶子 (60) <平成29年4月> 映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1	河内山 晶子 (60) <平成29年4月> 映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1	兼任 教授 河内山 晶子 (61) <平成29年4月> 映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1
兼任	教授	小林 一岳 (59) <平成29年4月> 人文科学論1 日本史1	小林 一岳 (59) <平成29年4月> 人文科学論1 日本史1	兼任 教授 小林 一岳 (60) <平成29年4月> 人文科学論1 日本史1
兼任	教授	篠山 浩文 (56) <平成29年4月> 科学コミュニケーション論 生物学1 生物学4 人類と環境	篠山 浩文 (56) <平成29年4月> 科学コミュニケーション論 生物学1 生物学4 人類と環境	兼任 教授 篠山 浩文 (57) <平成29年4月> 科学コミュニケーション論 人類と環境
				兼任 教授 清水 文直 (61) <平成30年4月> 科学技術論1 科学技術論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	J. イングルスルード (63) <平成29年4月> 言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4
兼任	教授	鈴木 時男 (60) <平成29年4月> 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4
兼任	教授	清宮 義博 (66) <平成29年4月> 科学技術論1 科学技術論2
兼任	教授	塚田 真一 (47) <平成29年4月> 統計学1 統計学2
兼任	教授	富樫 伸 (61) <平成29年4月> 生物学2 生物学3
兼任	教授	西村 美香 (56) <平成29年4月> 美学1 美学2 美学3 美学4
兼任	教授	二村 健 (63) <平成29年4月> 情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (56) <平成29年4月> 宗教学1 宗教学2 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3
兼任	教授	林 健介 (54) <平成29年4月> 外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2
兼任	教授	原田 久志 (66) <平成29年4月> 化学1
兼任	教授	秀村 研二 (61) <平成29年4月> 外国語(韓国語)3B 人文科学論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	J. イングルスルード (63) <平成29年4月> 言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4
兼任	教授	鈴木 時男 (60) <平成29年4月> 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4
兼任	教授	清宮 義博 (66) <平成29年4月> 科学技術論1 科学技術論2
兼任	教授	塚田 真一 (47) <平成29年4月> 統計学1 統計学2
兼任	教授	富樫 伸 (61) <平成29年4月> 生物学2 生物学3
兼任	教授	西村 美香 (56) <平成29年4月> 美学1 美学2 美学3 美学4
兼任	教授	二村 健 (63) <平成29年4月> 情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (56) <平成29年4月> 外国語(フランス語)1A 宗教学1 宗教学2 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3
兼任	教授	林 健介 (54) <平成29年4月> 外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2
兼任	教授	原田 久志 (66) <平成29年4月> 化学1
兼任	教授	秀村 研二 (61) <平成29年4月> 外国語(韓国語)3B 人文科学論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	J. イングルスルード (64) <平成29年4月> 言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4
兼任	教授	鈴木 時男 (61) <平成29年4月> 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4
兼任	教授	兼 小橋 (63) <平成30年4月> 外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2
兼任	教授	塚田 真一 (48) <平成29年4月> 統計学1 統計学2
兼任	教授	富樫 伸 (62) <平成29年4月> 生物学2
兼任	教授	西村 美香 (57) <平成29年4月> 美学1 美学2 美学3 美学4
兼任	教授	二村 健 (64) <平成29年4月> 情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (57) <平成29年4月> 外国語(フランス語)1A 宗教学1 宗教学2 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3
兼任	教授	林 健介 (55) <平成29年4月> 外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2
兼任	教授	原田 久志 (67) <平成29年4月> 化学1
兼任	教授	秀村 研二 (62) <平成29年4月> 外国語(韓国語)3B 人文科学論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	深澤 清 (55) ＜平成29年4月＞ 外国語(英語)2 A 外国語(英語)3 A 外国語(英語)4 A 地図を読む
兼任	教授	P. E. ロバートソン (68) ＜平成29年4月＞ 異文化体験
兼任	教授	丸山 正義 (68) ＜平成29年4月＞ 外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3
兼任	教授	村井 則夫 (54) ＜平成29年4月＞ 哲学1 哲学3 倫理学4 言葉の思想 上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 上級ドイツ語3 上級ドイツ語4
兼任	教授	村岡 慈歩 (47) ＜平成29年4月＞ 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	山下 善明 (68) ＜平成29年4月＞ 美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方
兼任	教授	山本 陽子 (62) ＜平成29年4月＞ 図像学
兼任	教授	吉川 榮一 (61) ＜平成30年4月＞ 外国語(中国語)3 B 外国語(中国語)4 B 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方
兼任	准教授	浅井 正行 (49) ＜平成30年4月＞ ボランティア実践1 ボランティア実践2
兼任	准教授	上田 耕造 (38) ＜平成29年4月＞ 西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2
兼任	准教授	内田 富男 (56) ＜平成29年4月＞ 外国語(英語)1 A
兼任	准教授	榎本 達彦 (64) ＜平成29年4月＞ 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	深澤 清 (55) ＜平成29年4月＞ 外国語(英語)2 A 外国語(英語)3 A 外国語(英語)4 A 地図を読む
兼任	教授	P. E. ロバートソン (68) ＜平成29年4月＞ 異文化体験
兼任	教授	丸山 正義 (68) ＜平成29年4月＞ 外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3
兼任	教授	村岡 慈歩 (47) ＜平成29年4月＞ 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	山下 善明 (68) ＜平成29年4月＞ 美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方
兼任	教授	山本 陽子 (62) ＜平成29年4月＞ 図像学
兼任	教授	吉川 榮一 (61) ＜平成30年4月＞ 外国語(中国語)3 B 外国語(中国語)4 B 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方
兼任	教授	浅井 正行 (49) ＜平成30年4月＞ ボランティア実践1 ボランティア実践2
兼任	准教授	上田 耕造 (38) ＜平成29年4月＞ 西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2
兼任	准教授	内田 富男 (56) ＜平成29年4月＞ 外国語(英語)1 A
兼任	教授	榎本 達彦 (64) ＜平成29年4月＞ 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	深澤 清 (56) ＜平成29年4月＞ 外国語(英語)1 A 外国語(英語)2 A 外国語(英語)3 A 外国語(英語)4 A 地図を読む
兼任	教授	P. E. ロバートソン (69) ＜平成29年4月＞ 異文化体験 外国語(英語)1 B 外国語(英語)2 B
兼任	教授	丸山 正義 (69) ＜平成29年4月＞ 外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3
兼任	教授	村岡 慈歩 (48) ＜平成29年4月＞ 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	山下 善明 (69) ＜平成29年4月＞ 美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方
兼任	教授	山本 陽子 (63) ＜平成29年4月＞ 図像学
兼任	教授	吉川 榮一 (62) ＜平成30年4月＞ 外国語(中国語)3 B 外国語(中国語)4 B 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方
兼任	教授	浅井 正行 (50) ＜平成30年4月＞ ボランティア実践1 ボランティア実践2
兼任	准教授	上田 耕造 (39) ＜平成29年4月＞ 西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2
兼任	准教授	内田 富男 (57) ＜平成29年4月＞ 外国語(英語)1 A 外国語(英語)3 A 外国語(英語)4 A
兼任	教授	榎本 達彦 (65) ＜平成29年4月＞ 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	金 康芬 (46) <平成29年4月> 外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2
兼任	准教授	鈴木 浩子 (56) <平成29年4月> 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1
兼任	准教授	T. パーデン (45) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B 上級英語1 上級英語2 上級英語3 上級英語4
兼任	准教授	高橋 南海子 (48) <平成29年4月> 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1
兼任	准教授	藤原 愛 (41) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 異文化で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	准教授	宮村 典秀 (39) <平成29年4月> 物理学1 物理学2
兼任	准教授	山崎 藍 (39) <平成29年4月> 外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2
兼任	准教授	山崎 元素 (45) <平成29年4月> 現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2
兼任	講師	E. ポーバン (26) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	金 康芬 (46) <平成29年4月> 外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2
兼任	教授	鈴木 浩子 (56) <平成29年4月> 自立と体験1 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1
兼任	准教授	T. パーデン (45) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B 上級英語1 上級英語2 上級英語3 上級英語4
兼任	准教授	高橋 南海子 (48) <平成29年4月> 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1
兼任	准教授	浜野 壽士 (40) <平成29年4月> 哲学1 哲学3
兼任	准教授	藤原 愛 (41) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 異文化で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	准教授	宮村 典秀 (39) <平成29年4月> 物理学1 物理学2
兼任	准教授	山崎 藍 (39) <平成29年4月> 外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2
兼任	教授	山崎 元素 (45) <平成29年4月> 現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2
兼任	講師	E. ポーバン (26) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	金 康芬 (47) <平成29年4月> 外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2
兼任	准教授	佐々木秀明 (43) <平成30年4月> 生物学1 生物学3 生物学4
兼任	教授	鈴木 浩子 (57) <平成29年4月> 自立と体験1 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1
兼任	准教授	T. パーデン (46) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B 上級英語1 上級英語2 上級英語3 上級英語4
兼任	准教授	高橋 南海子 (49) <平成29年4月> 自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1
兼任	准教授	浜野 壽士 (41) <平成29年4月> 哲学1 哲学3
兼任	講師	E. ポーバン (27) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	O. ヴォリンツェ ヴァ (42) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	J. プライア (52) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	G. O. アデボノ ジョ (28) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	講師	D. ロナーガン (29) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	講師	D. A. アイザックス (52) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	M. メネギーニ (53) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	助教	坂本 拓弥 (30) <平成29年4月> 健康・スポーツ演習 1 健康・スポーツ演習 2 健康・スポーツ演習 3 健康・スポーツ演習 4
兼任	講師	青木 克憲 (60) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A
兼任	講師	青柳 宏亮 (34) <平成31年4月> こども心理療法論 心理面接実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	J. プライア (52) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	D. シュミッド (26) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	講師	D. ロナーガン (29) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	講師	D. A. アイザックス (52) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	M. メネギーニ (53) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	准教授	坂本 拓弥 (30) <平成29年4月> 健康・スポーツ演習 1 健康・スポーツ演習 2 健康・スポーツ演習 3 健康・スポーツ演習 4
兼任	講師	青木 克憲 (60) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A
兼任	講師	青柳 宏亮 (34) <平成31年4月> こども心理療法論 心理面接実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	O. ガライ (26) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	D. シュミッド (27) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	講師	D. ロナーガン (30) <平成29年4月> 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	講師	F. ブレナン (39) <平成30年4月> 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	助教	佐藤 洋 (30) <平成30年4月> 健康・スポーツ科学 論 健康・スポーツ演習 1 健康・スポーツ演習 2 健康・スポーツ演習 3 健康・スポーツ演習 4
兼任	講師	青木 克憲 (61) <平成29年4月> 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A
兼任	講師	青柳 宏亮 (36) <平成31年4月> こども心理療法論 心理演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	安藤 道夫 (49) <平成29年4月>	論理学 1 論理学 2
兼任	講師	飯田 茂 (58) <平成31年4月>	精神医学概論
兼任	講師	五十嵐 正敬 (55) <平成29年4月>	化学 2 自然科学入門 1 自然科学入門 2
兼任	講師	石川 正弘 (50) <平成29年4月>	地球惑星学 1
兼任	講師	井出野 尚 (56) <平成31年4月>	社会行動論
兼任	講師	伊藤 教子 (45) <平成29年4月>	心理学 1 心理学 2 心理統計法 1 心理統計法 2 心理学調査法
兼任	講師	岩隈 道洋 (43) <平成30年4月>	情報法制論
兼任	講師	鶴飼 政志 (52) <平成30年4月>	日本史 3 日本史 4
兼任	講師	梅比良 節子 (63) <平成30年4月>	外国語(フランス語) 3 A 外国語(フランス語) 4 A
兼任	講師	枝見 太郎 (59) <平成29年4月>	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (60) <平成29年4月>	中国の歴史と文化 1 中国の歴史と文化 2
兼任	講師	大井 直子 (67) <平成29年4月>	心理統計法 1 心理統計法 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	安藤 道夫 (49) <平成29年4月>	論理学 1 論理学 2
兼任	講師	飯田 茂 (58) <平成31年4月>	精神医学概論
兼任	講師	五十嵐 正敬 (55) <平成29年4月>	化学 2 自然科学入門 1 自然科学入門 2
兼任	講師	石川 正弘 (50) <平成29年4月>	地球惑星学 1
兼任	講師	井出野 尚 (56) <平成31年4月>	社会行動論
兼任	講師	伊藤 教子 (45) <平成29年4月>	心理学 1 心理学 2 心理統計法 1 心理統計法 2 心理学調査法
兼任	講師	井上 愛 (34) <平成29年4月>	日本の芸能 1 日本の芸能 2
兼任	講師	岩隈 道洋 (43) <平成30年4月>	情報法制論
兼任	講師	鶴飼 政志 (52) <平成30年4月>	日本史 3 日本史 4
兼任	講師	梅比良 節子 (63) <平成30年4月>	外国語(フランス語) 3 A 外国語(フランス語) 4 A
兼任	講師	枝見 太郎 (59) <平成29年4月>	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (60) <平成29年4月>	中国の歴史と文化 1 中国の歴史と文化 2
兼任	講師	大井 直子 (67) <平成29年4月>	心理統計法 1 心理統計法 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	安藤 道夫 (50) <平成29年4月>	論理学 1 論理学 2
兼任	講師	飯田 茂 (59) <平成31年4月>	精神疾患とその治療
兼任	講師	五十嵐 正敬 (56) <平成29年4月>	化学 2 自然科学入門 1 自然科学入門 2
兼任	講師	石川 正弘 (51) <平成29年4月>	地球惑星学 1
兼任	講師	井出野 尚 (57) <平成31年4月>	社会行動論
兼任	講師	伊藤 教子 (46) <平成29年4月>	心理学 1 心理学 2 心理統計法 1 心理統計法 2 心理学調査法
兼任	講師	井上 愛 (35) <平成29年4月>	日本の芸能 1 日本の芸能 2
兼任	講師	岩隈 道洋 (44) <平成30年4月>	情報法制論
兼任	講師	鶴飼 政志 (53) <平成30年4月>	日本史 3 日本史 4
兼任	講師	梅原 響 (26) <平成30年4月>	心理的アセスメント 心理的アセスメント 実習
兼任	講師	梅比良 節子 (63) <平成30年4月>	外国語(フランス語) 3 A 外国語(フランス語) 4 A
兼任	講師	枝見 太郎 (60) <平成29年4月>	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (61) <平成29年4月>	中国の歴史と文化 1 中国の歴史と文化 2
兼任	講師	大井 直子 (68) <平成29年4月>	心理統計法 1 心理統計法 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	大野 祐二 (54) <平成30年4月>
		外国語(韓国語) 3 A 外国語(韓国語) 4 A
兼任	講師	大橋 智 (38) <平成29年4月>
		心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	大曲 陽子 (57) <平成29年4月>
		外国語(英語) 1 A 外国語(英語) 2 A
兼任	講師	岡田 あずさ (36) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習 心理面接実習
兼任	講師	郭 テイ (52) <平成30年4月>
		外国語(中国語) 3 A 外国語(中国語) 4 A
兼任	講師	倉持 長子 (35) <平成29年4月>
		日本の芸能1 日本の芸能2
兼任	講師	桑原 正修 (41) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	古野 公紀 (38) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	小原 健一郎 (35) <平成29年4月>
		心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (49) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習 運動視覚心理学
兼任	講師	齋藤 和夫 (64) <平成29年4月>
		法学1 法学2(日本国憲法)
兼任	講師	齋藤 政則 (51) <平成29年4月>
		自然科学史
兼任	講師	佐々木 昭則 (52) <平成29年4月>
		倫理学1 倫理学2 倫理学3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	大野 祐二 (54) <平成30年4月>
		外国語(韓国語) 3 A 外国語(韓国語) 4 A
兼任	講師	大橋 智 (38) <平成29年4月>
		心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	大曲 陽子 (57) <平成29年4月>
		外国語(英語) 1 A 外国語(英語) 2 A
兼任	講師	岡田 あずさ (36) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習 心理面接実習
兼任	講師	郭 テイ (52) <平成30年4月>
		外国語(中国語) 3 A 外国語(中国語) 4 A
兼任	講師	桑原 正修 (41) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	古野 公紀 (38) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	小原 健一郎 (35) <平成29年4月>
		心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (49) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習 運動視覚心理学
兼任	講師	齋藤 和夫 (64) <平成29年4月>
		法学1 法学2(日本国憲法)
兼任	講師	齋藤 政則 (51) <平成29年4月>
		自然科学史
兼任	講師	佐々木 昭則 (52) <平成29年4月>
		倫理学1 倫理学2 倫理学3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	大野 祐二 (55) <平成30年4月>
		外国語(韓国語) 3 A 外国語(韓国語) 4 A
兼任	講師	大橋 智 (39) <平成29年4月>
		心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	大曲 陽子 (58) <平成29年4月>
		外国語(英語) 1 A 外国語(英語) 2 A
兼任	講師	岡田 あずさ (37) <平成30年4月>
		心理的アセスメント 心理的アセスメント実習 心理演習
兼任	講師	桑原 正修 (42) <平成30年4月>
		心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	古野 公紀 (39) <平成30年4月>
		心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	小原 健一郎 (36) <平成29年4月>
		心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (50) <平成30年4月>
		心理学実験 心理学実験実習 運動視覚心理学
兼任	講師	齋藤 和夫 (65) <平成29年4月>
		法学1 法学2(日本国憲法)
兼任	講師	齋藤 政則 (52) <平成29年4月>
		自然科学史
兼任	講師	佐々木 昭則 (53) <平成29年4月>
		倫理学1 倫理学2 倫理学3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 耕平 (41) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	兼任	講師	佐藤 耕平 (41) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	兼任	講師	佐藤 耕平 (42) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
								兼任	講師	佐藤 雄哉 (27) <平成30年4月>	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
								兼任	講師	真田 尚剛 (34) <平成30年4月>	現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2
								兼任	講師	清水 由布紀 (32) <平成30年4月>	異文化で学ぶ英語
兼任	講師	菅佐原 洋 (44) <平成31年4月>	社会環境行動論	兼任	講師	菅佐原 洋 (44) <平成31年4月>	社会環境行動論	兼任	講師	菅佐原 洋 (45) <平成31年4月>	社会環境行動論
兼任	講師	鈴木 清重 (46) <平成30年4月>	心理学実験法 心理学実験法実習	兼任	講師	鈴木 清重 (46) <平成30年4月>	心理学実験法 心理学実験法実習	兼任	講師	鈴木 清重 (47) <平成30年4月>	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	鈴木 敬生 (39) <平成31年4月>	認知行動療法実践論	兼任	講師	鈴木 敬生 (39) <平成31年4月>	認知行動療法実践論	兼任	講師	鈴木 敬生 (40) <平成31年4月>	認知行動療法実践論
兼任	講師	瀬戸山 聡子 (54) <平成31年4月>	組織心理学	兼任	講師	瀬戸山 聡子 (54) <平成31年4月>	組織心理学				
兼任	講師	早田 雅人 (54) <平成29年4月>	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B	兼任	講師	早田 雅人 (54) <平成29年4月>	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B	兼任	講師	早田 雅人 (55) <平成29年4月>	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B
								兼任	講師	高橋 実紗子 (26) <平成30年4月>	外国語(英語)3A
兼任	講師	高見 研一 (56) <平成29年4月>	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B	兼任	講師	高見 研一 (56) <平成29年4月>	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B	兼任	講師	高見 研一 (57) <平成29年4月>	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B
兼任	講師	滝本 順子 (43) <平成29年4月>	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2	兼任	講師	滝本 順子 (43) <平成29年4月>	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2	兼任	講師	滝本 順子 (44) <平成29年4月>	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 雅明 (29) <平成29年4月>
		健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
		武田 里子 (60) <平成29年4月>
		社会に生きる私たちの人権
兼任	講師	立川 大雅 (30) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	田中 藤司 (50) <平成29年4月>
		日本民俗学1 日本民俗学2
兼任	講師	田淵 尚子 (36) <平成31年4月>
		カウンセリング実践論 心理面接実習
兼任	講師	塚越 敦子 (61) <平成29年4月>
		外国語(フランス語)1A
兼任	講師	塚本 匡 (31) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	董 丹犁 (56) <平成29年4月>
		外国語(中国語)1A 外国語(中国語)2A
兼任	講師	外山 知子 (60) <平成29年4月>
		外国語(ドイツ語)1A 外国語(ドイツ語)1B 外国語(ドイツ語)2A 外国語(ドイツ語)2B
		中島 悠介 (29) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習
		中村 有 (42) <平成30年4月>
兼任	講師	心理学検査法 心理学検査法実習 性格心理学実践論
		名取 修一 (63) <平成29年4月>
兼任	講師	グローバル時代の経営1 グローバル時代の経営2
		能登 省二 (58) <平成29年4月>
兼任	講師	外国語(フランス語)2A
		外国語(フランス語)2A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 雅明 (29) <平成29年4月>
		健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
		武田 里子 (60) <平成29年4月>
		社会に生きる私たちの人権
兼任	講師	立川 大雅 (30) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	田中 藤司 (50) <平成29年4月>
		日本民俗学1 日本民俗学2
兼任	講師	田淵 尚子 (36) <平成31年4月>
		カウンセリング実践論 心理面接実習
兼任	講師	塚本 匡 (31) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	董 丹犁 (56) <平成29年4月>
		外国語(中国語)1A 外国語(中国語)2A
兼任	講師	外山 知子 (60) <平成29年4月>
		外国語(ドイツ語)1A 外国語(ドイツ語)1B 外国語(ドイツ語)2A 外国語(ドイツ語)2B
		中島 悠介 (29) <平成30年4月>
		心理学検査法 心理学検査法実習
		中村 有 (42) <平成30年4月>
兼任	講師	心理学検査法 心理学検査法実習 性格心理学実践論
		名取 修一 (63) <平成29年4月>
兼任	講師	グローバル時代の経営1 グローバル時代の経営2
		能登 省二 (58) <平成29年4月>
兼任	講師	外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 外国語(フランス語)2A
		外国語(フランス語)2A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	武田 里子 (61) <平成29年4月>
		社会に生きる私たちの人権
		立川 大雅 (31) <平成30年4月>
		心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	田中 藤司 (51) <平成29年4月>
		日本民俗学1 日本民俗学2 文化人類学1 文化人類学2
兼任	講師	田淵 尚子 (37) <平成31年4月>
		カウンセリング実践論 心理演習
兼任	講師	塚本 匡 (32) <平成30年4月>
		心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	董 丹犁 (57) <平成29年4月>
		外国語(中国語)1A 外国語(中国語)2A
兼任	講師	外山 知子 (61) <平成29年4月>
		外国語(ドイツ語)1A 外国語(ドイツ語)1B 外国語(ドイツ語)2A 外国語(ドイツ語)2B
		中村 有 (43) <平成30年4月>
		性格心理学実践論
		名取 修一 (64) <平成29年4月>
兼任	講師	グローバル時代の経営1 グローバル時代の経営2
		能登 省二 (59) <平成29年4月>
兼任	講師	外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 外国語(フランス語)2A
		外国語(フランス語)2A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	林 徹 (58) <平成29年4月> 考古学1 考古学2
兼任	講師	林 幹夫 (67) <平成29年4月> 教育学1 教育学2
兼任	講師	定田 雅昭 (46) <平成29年4月> 日本の文学1 日本の文学2
兼任	講師	松岡 恵子 (47) <平成29年4月> 臨床神経心理学
兼任	講師	三原 大介 (55) <平成29年4月> 健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	森岡 千枝子 (61) <平成29年4月> 日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本語事情1 日本語事情2
兼任	講師	矢代 佐枝子 (43) <平成29年4月> 心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (42) <平成29年4月> 基礎数学1 基礎数学2
兼任	講師	油谷 元規 (35) <平成30年4月> 心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (54) <平成31年4月> 犯罪心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	林 徹 (58) <平成29年4月> 考古学1 考古学2
兼任	講師	林 幹夫 (67) <平成29年4月> 教育学1 教育学2
兼任	講師	定田 雅昭 (46) <平成29年4月> 日本の文学1 日本の文学2
兼任	講師	松岡 恵子 (47) <平成29年4月> 臨床神経心理学
兼任	講師	三原 大介 (55) <平成29年4月> 健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	森岡 千枝子 (61) <平成29年4月> 日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本語事情1 日本語事情2
兼任	講師	矢代 佐枝子 (43) <平成29年4月> 心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (42) <平成29年4月> 基礎数学1 基礎数学2
兼任	講師	油谷 元規 (35) <平成30年4月> 心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (54) <平成31年4月> 犯罪心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	林 徹 (59) <平成29年4月> 考古学1 考古学2
兼任	講師	林 幹夫 (68) <平成29年4月> 教育学1 教育学2
兼任	講師	原山 重信 (65) <平成30年4月> 外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A
兼任	講師	定田 雅昭 (47) <平成29年4月> 日本の文学1 日本の文学2
兼任	講師	松岡 恵子 (48) <平成30年4月> 臨床神経心理学
兼任	講師	三原 大介 (56) <平成29年4月> 健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	毛 丹 (56) <平成30年4月> 外国語(中国語)3A 外国語(中国語)4A
兼任	講師	森岡 千枝子 (62) <平成29年4月> 日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本語事情1 日本語事情2
兼任	講師	矢代 佐枝子 (44) <平成29年4月> 心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (43) <平成29年4月> 基礎数学1 基礎数学2
兼任	講師	山本 陽一 (43) <平成30年4月> 心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	油谷 元規 (36) <平成30年4月> 心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (55) <平成31年4月> 司法・犯罪心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
				兼任	講師	未定 () <平成31年4月>	上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 上級ドイツ語3 上級ドイツ語4	兼任	講師	未定 () <平成31年4月>	上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 上級ドイツ語3 上級ドイツ語4
								兼任	講師	未定 () <平成31年4月>	福祉心理学
				兼任	講師	未定 () <平成32年4月>		兼任	講師	未定 () <平成32年4月>	関係行政論
				兼任	講師	未定 () <平成32年4月>		兼任	講師	未定 () <平成32年4月>	人体の構造と機能及び疾病

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・塚越兼任講師退職のため、林兼任教授に変更。
- ・浅井兼任准教授、兼任教授に職位変更。
- ・榎本兼任准教授、兼任教授に職位変更。
- ・鈴木兼任准教授、兼任教授に職位変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「自立と体験1」担当者を、境教授から鈴木兼任教授へ変更。
- ・山崎兼任准教授、兼任教授に職位変更。
- ・坂本兼任助教、兼任教授に職位変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「性格心理学」担当者を、石井教授から黒岩兼任教授へ変更。
- ・村井兼任教授退職のため、「哲学1」「哲学3」を浜野兼任教授に変更、「倫理学4」「言葉の思想」は現在担当している兼任教員が担当、「上級ドイツ語1」「上級ドイツ語2」「上級ドイツ語3」「上級ドイツ語4」については開講年度までに兼任教員採用予定。
- ・アデボノジョ兼任講師退職のため、シュミット兼任講師に変更、「倫理学4」、「言葉の思想」は山下教授後任を採用予定。
- ・教育効果向上のため、「外国語（フランス語）1B」「外国語（フランス語）2B」担当者を、片山兼任教授から能登兼任講師へ変更。
- ・倉持兼任講師退職のため、井上兼任講師へ変更。

【平成30年度】

- ・教員組織充実のため、平成30年4月富田教授就任。
- ・教員組織充実のため、平成30年4月佐藤兼教授就任。
- ・平成30年4月丹野助教、准教授に職位変更。
- ・菊地兼任教授、学内業務負担格差解消のため、「文化人類学1」「文化人類学2」担当者を田中兼任講師へ変更。
- ・清田兼任教授、研修制度派遣のため、「外国語（英語）1A」を深澤兼任教授へ変更、「外国語（英語）3A」を高橋兼任講師へ変更。
- ・平成30年3月黒岩兼任教授、定年退職のため、「感情・人格心理学」担当者を富田教授へ変更。
- ・篠山兼任教授、負担格差解消のため、「生物学1」「生物学4」担当者を佐々木兼任教授へ変更。
- ・清宮兼任教授、負担格差解消のため、「科学技術論1」「科学技術論2」担当者を、清水兼任教授へ変更。
- ・富樫兼任教授、負担格差解消のため、「生物学3」担当者を富樫兼任教授へ変更。
- ・藤原兼任教授、休職のため、「外国語（英語）1A」「外国語（英語）2A」担当者を河内山兼任教授へ、「外国語（英語）3A」「外国語（英語）4A」担当者を内田兼任教授へ、「異文化で学ぶ英語」担当者を清水兼任講師へ変更。
- ・山崎兼任教授退職のため、「外国語（中国語）1B」「外国語（中国語）2B」「上級中国語1」「上級中国語2」担当者を義兼任教授へ変更。
- ・山崎兼任教授退職のため、「現代政治を読み解く1」「現代政治を読み解く2」「社会科学論1」「社会科学論2」「国際関係論1」「国際関係論2」担当者を、真田兼任講師へ変更。
- ・ブライア兼任講師退職のため、「外国語（英語）1B」「外国語（英語）2B」担当者をロバートソン兼任教授へ変更、「外国語（英語）3B」「外国語（英語）4B」担当者をブレナン兼任講師へ変更。
- ・アイザックス兼任講師退職のため、「外国語（英語）3B」「外国語（英語）4B」担当者をヴォリンツェヴァ兼任講師へ変更。
- ・メネギーニ兼任講師退職のため、「外国語（英語）3B」「外国語（英語）4B」担当者をガラキ兼任講師へ変更。
- ・坂本兼任教授退職のため、「健康・スポーツ演習1」「健康・スポーツ演習2」「健康・スポーツ演習3」、「健康・スポーツ演習4」担当者を佐藤兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「外国語（フランス語）3A」「外国語（フランス語）4A」担当者を梅比良兼任講師から原山兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「健康・スポーツ演習2」「健康・スポーツ演習3」「健康・スポーツ演習4」担当者を竹内兼任講師から佐藤兼任助教へ変更。
- ・教育効果向上のため、「外国語（中国語）3A」「外国語（中国語）4A」担当者を郭兼任講師から毛兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学統計法1」「心理学統計法2」担当者を大橋兼任講師から山本兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学調査法」担当者を大橋兼任講師から尾野准教授へ変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため「組織心理学」を「産業心理学」と統合したことでの科目廃止により、瀬戸山兼任講師を削除。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」「心理的アセスメント実習」担当者を中村兼任講師から大橋兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」「心理的アセスメント実習」担当者を中島兼任講師から梅原兼任講師へ変更。
- ・公認心理師国家資格対応のための新設科目「福祉心理学」「関係行政論」「人体の構造と機能及び疾病」は兼任講師採用予定。
- ・公認心理師国家資格対応のための新設科目「心理実習」は、石井教授、小貫教授、富田教授、福田教授、竹内准教授、藤井准教授に担当科目追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
7	4	0	1	12	8	6	0	0	14	8	6	0	0	14
(7)	(4)	0	(1)	(12)						[1]	[2]	[0]	[Δ1]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65又は70 (着任時期により 異なる)	0 歳	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{12} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 授業科目の概要	① 公認心理師法施行に伴い公認心理師国家資格に対応するため、科目名の変更および科目の新設・廃止を行った。 平成29年12月25日大学設置室事前連絡済み。 (別紙1「学則別表(抜粋)新旧対照表」参照)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」(別紙2)を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。</p> <p>SDについては個別委員会を設置してはいないが、事務職員の研修を掌握する人事課において、「部局別SD」に関する報告書を部局より提出させるとともに、大学全体の職員研修としては、毎年度予算編成の際に行う人事課の予算折衝において研修内容を含めた実施計画、実施の状況等について検証している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成26年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成26年 5月14日(水) 教員参加人数10名 ・ 第2回全学FD委員会 平成26年 6月 5日(木) 教員参加人数11名 ・ 第3回全学FD委員会 平成26年 7月 3日(木) 教員参加人数11名 ・ 第4回全学FD委員会 平成26年 9月 4日(木) 教員参加人数10名 ・ 第5回全学FD委員会 平成26年10月 2日(木) 教員参加人数10名 ・ 第6回全学FD委員会 平成26年11月 6日(木) 教員参加人数10名 ・ 第7回全学FD委員会 平成26年12月 4日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第8回全学FD委員会 平成27年 1月 8日(木) 教員参加人数11名 ・ 第9回全学FD委員会 平成27年 2月12日(木) 教員参加人数11名 ・ 第10回全学FD委員会 平成27年 3月19日(木) 教員参加人数 9名
--

平成27年度の開催状況

・第1回全学FD委員会	平成27年 5月13日(水)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成27年 6月 3日(水)	教員参加人数10名
・第3回全学FD委員会	平成27年 7月 1日(水)	教員参加人数10名
・第4回全学FD委員会	平成27年 9月 2日(水)	教員参加人数10名
・第5回全学FD委員会	平成27年10月 7日(水)	教員参加人数10名
・第6回全学FD委員会	平成27年11月11日(水)	教員参加人数10名
・第7回全学FD委員会	平成27年12月 2日(水)	教員参加人数10名
・第8回全学FD委員会	平成28年 1月13日(水)	教員参加人数11名
・第9回全学FD委員会	平成28年 2月 3日(水)	教員参加人数11名
・第10回全学FD委員会	平成28年 3月 2日(水)	教員参加人数11名

平成28年度の開催状況

・第1回全学FD委員会	平成28年 5月19日(木)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成28年 6月 8日(水)	教員参加人数10名
・第3回全学FD委員会	平成28年 7月 6日(水)	教員参加人数 8名
・第4回全学FD委員会	平成28年 9月14日(水)	教員参加人数10名
・第5回全学FD委員会	平成28年10月 5日(水)	教員参加人数10名
・第6回全学FD委員会	平成28年11月 8日(水)	教員参加人数11名
・第7回全学FD委員会	平成28年12月 6日(水)	教員参加人数10名
・第8回全学FD委員会	平成29年 1月11日(水)	教員参加人数 9名
・第9回全学FD委員会	平成29年 2月 1日(水)	教員参加人数10名
・第10回全学FD委員会	平成29年 3月 1日(水)	教員参加人数10名

平成29年度の開催状況

・第1回全学FD委員会	平成29年 5月17日(水)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成29年 6月 7日(水)	教員参加人数10名
・第3回全学FD委員会	平成29年 7月 5日(水)	教員参加人数11名
・第4回全学FD委員会	平成29年 9月13日(水)	教員参加人数11名
・第5回全学FD委員会	平成29年10月 4日(水)	教員参加人数11名
・第6回全学FD委員会	平成29年11月 9日(水)	教員参加人数10名
・第7回全学FD委員会	平成29年12月 6日(水)	教員参加人数10名
・第9回全学FD委員会	平成30年 2月 7日(水)	教員参加人数11名
・第10回全学FD委員会	平成30年 3月 7日(水)	教員参加人数11名

c 委員会の審議事項等

全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムでの活動について

部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学的FDの取り組み

- ① 新任教員のための研修会
- ② 主体的な学びについて
- ③ 他大学とのFD情報の共有
- ④ 授業アンケートの見直し
- ⑤ 教員相互の授業参観における授業公開

平成29年度 全学FD研修会の実施状況

- ① 7月31日(月) 「授業運営に明星LMSを活用する～東洋大学の事例に学ぶ～」
- ② 12月21日(木) 「障がい学生支援からみた大学運営」

部局別SDの取組み(例)

- ① 教職課程認定制度
- ② 高等教育制度および関連法令
- ③ 大学における英語教育

b 実施方法

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、公益財団法人八王子セミナーハウス主催の新任教員研修に参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

②主体的な学びについて

学生が主体的な学びをする為に、学内の事例を共有し、且つ一般的にはどのように考えられているかについて、平成26年度は他大学の講師を招聘し、成績評価の厳格化から授業手法等多岐に渡る内容を共有した。以降、部局別FD等を通じてそれぞれの教員が実践に向けて取り組みを進めており、平成29年度は学生の主体的な学びを促進するためのツールとしてLMSの活用方法等についても研修を行った。また1・3年次に実施するアセスメントテストの結果をもとに、本学学生の全体的な特性を理解するとともに、障がいや有する学生への支援を含め、多様な学生に対応することを念頭に置いた研修会を実施している。

③他大学とのFD情報の共有

他大学のFDの取り組み、実践方法等についてスムーズな情報共有ができるよう私立大学FD連携フォーラムに加盟しており、加盟校間の情報交換を通じて得られた情報は、全学FD委員会で適宜報告し、全学に展開している。

④授業アンケートの見直し

平成29年度中に授業アンケートの見直しを行い、平成30年度以降はより積極的な活用ができるように全学的な質問項目を整理し、併せて学科独自の質問項目を新設することにした。これにより、授業改善のみならず、カリキュラムの検証等にもつなげられるよう組織的に取り組む予定である。

⑤教員相互の授業参観における授業公開

部局別に公募制を採り、教員相互に授業参観ができる仕組みを設けている。部局によっては全教員が全担当科目を公開する場合もあるが、積極的に取り組んでいるのは、特定の部局や教員に偏っている状況も報告されているため、授業改善につながる取組みとして全学的に浸透するよう、今後も継続して実施していく。

SDの取り組み

①「部局別SD」

②他大学の職員と合同の階層別研修

③履修証明プログラムへの参加補助

平成12年度よりスキル向上を目的に筑波大学の「大学マネジメント人材育成プログラム」へ職員を参加させている。

④その他

平成29年度は全教職員を対象に2回のコンプライアンス研修を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会

新任教員全員が参加した。

②主体的学びについて

どうしたら学生が能動的自律的学習者になるか、について全学FD委員会で検討を重ね、それぞれのテーマで研修会を実施。教員の参加率は30～40%程度。

③他大学とのFD情報の共有

私立大学FD連携フォーラムに本学教職員が参加して、授業形態・授業時間の多様化への対応について情報交換を行い、他大学での取組み事例について全学FD委員会を通じて情報共有を行った。

④授業アンケートの見直し

平成29年度中に、アンケートの項目の見直し及び既存のシステム改修を追い、平成30年度前期から、新制度での授業アンケートを実施する。

⑤教員相互の授業参観における授業公開状況

【前期】

全学共通科目 …全教員、全科目公開

人文学部 …6科目公開

経済学部 …全教員、40科目公開

デザイン学部 …全教員、全科目公開

【後期】

人文学部 …7科目公開

デザイン学部 …全教員、全科目公開

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

近年は、徐々にではあるがFDの理解も高まり、教職員間でも必要性が認識されてきた。ただし、かならずしも十分とはいえないため、更なる全学的な取り組み、及び意識の向上に向けて、全学的な検証を進めることが必要である。引き続きFD活動を通じて意識改革を図ることに加え、全学的な体制も、状況に応じて見直しを行う。

またSDについては、従来より職員育成を推進する取り組みをしており、教職員問わず参加できるプログラムや学内プロジェクト（MI21）の中でも研修を実施してきた。ただし2017年より大学設置基準で義務化されたことから、更なる推進に向けた学内定義の明確化が必要との認識を持って、今後取り組みたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を本学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に本学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙3のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年4月9日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると認定される（期間：平成23年度～平成29年度）。

・平成29年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると認定される（期間：2018年度～2025年度）。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成 30年 7月31日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

明星大学学則 別表(抜粋) 新旧対照表

改正案				現行					
別表第1～別表第10 (略)				別表第1～別表第10 (略)					
別表第11 学科科目及び単位数(心理学部心理学科)				別表第11 学科科目及び単位数(心理学部心理学科)					
授業科目の名称	単位数または時間数			備考	授業科目の名称	単位数または時間数			備考
	必修	選択	自由			必修	選択	自由	
基礎科目					基礎科目				
自立と体験2	2				自立と体験2	2			
心理学概論A	2				心理学概論A	2			
心理学概論B	2				心理学概論B	2			
心理学統計法1	2				心理統計法1	2			
心理学統計法2	2				心理統計法2	2			
心理学研究法	2				心理学研究法	2			
心理学実験	2				心理学実験法	2			
心理学実験実習	2				心理学実験法実習	2			
心理的アセスメント	2				心理学検査法	2			
心理的アセスメント実習	2				心理学検査法実習	2			
基幹科目				20単位 以上	基幹科目				20単位 以上
比較心理学		2			比較心理学		2		
産業・組織心理学		2			産業心理学		2		
児童心理学		2			児童心理学		2		
障害者・障害児心理学		2			障害児(者)心理学		2		
健康・医療心理学		2			基礎臨床心理学		2		
感情・人格心理学		2			性格心理学		2		
知覚・認知心理学		2			知覚心理学		2		
学習・言語心理学		2			学習心理学		2		
神経・生理心理学		2			神経心理学		2		
社会・集団・家族心理学		2			社会心理学		2		
青年心理学		2			青年心理学		2		
発達心理学		2			生涯発達心理学		2		
発達臨床心理学		2			発達臨床心理学 (新設)		2		
福祉心理学		2			学校臨床心理学		2		
教育・学校心理学		2							
発展科目				発展科目					
聴知覚心理学		2		聴知覚心理学		2			
運動視知覚心理学		2		運動視知覚心理学		2			
実験の行動分析学		2		実験の行動分析学		2			
比較認知科学		2		比較認知科学		2			
認知神経心理学		2		認知神経心理学		2			
臨床神経心理学		2		臨床神経心理学		2			
社会的認知論		2		社会的認知論		2			
社会行動論		2		社会行動論		2			
消費者行動論 (削除)		2		消費者行動論		2			
心理学調査法		2		組織心理学		2			
人間関係発達論		2		心理学調査法		2			
カウンセリング技法論		2		人間関係発達論		2			
カウンセリング実践論		2		カウンセリング技法論		2			
認知行動療法技法論		2		カウンセリング実践論		2			
認知行動療法実践論		2		認知行動療法技法論		2			
司法・犯罪心理学		2		認知行動療法実践論		2			
性格心理学実践論		2		犯罪心理学		2			
心理学の支援法		2		性格心理学実践論		2			
こども心理療法論		2		心理臨床支援技法論		2			
応用行動分析学		2		こども心理療法論		2			
社会環境行動論		2		応用行動分析学		2			
発達障害児教育論		2		社会環境行動論		2			
発達障害者自立支援論		2		発達障害児教育論		2			
				発達障害者自立支援論		2			
臨床実践科目				臨床実践科目					
心理演習		2		心理面接実習		2			
臨床心理学概論		2		臨床心理学概論		2			

精神疾患とその治療		2		
公認心理師の職責		2		
関係行政論		2		
人体の構造と機能及び疾病		2		
心理実習		2		
キャリア形成科目				
心理学で拓くキャリア		2		
研究実践科目				
専門演習 1 A	1			
専門演習 1 B	1			
専門演習 2 A	1			
専門演習 2 B	1			
卒業研究	8			
計	32	92		

<注>

※全学共通社会的・職業的自立促進科目の単位を修得した場合は、6単位まで学科科目の選択科目に充てることができる。ただし、キャリア形成科目の「心理学で拓くキャリア」2単位を修得した場合には、4単位までとする。

精神医学概論		2		
心理臨床・実践職能論		2		
(新設)				
(新設)				
(新設)				
キャリア形成科目				
心理学で拓くキャリア		2		
研究実践科目				
専門演習 1 A	1			
専門演習 1 B	1			
専門演習 2 A	1			
専門演習 2 B	1			
卒業研究	8			
計	32	86		

<注>

※全学共通社会的・職業的自立促進科目の単位を修得した場合は、6単位まで学科科目の選択科目に充てることができる。ただし、キャリア形成科目の「心理学で拓くキャリア」2単位を修得した場合には、4単位までとする。

明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程

平成21年4月1日
制 定

(趣旨)

第1条 この規程は、明星大学学則（昭和39年4月1日）第61条第2項、明星大学大学院学則（昭和46年4月1日）第49条第2項、明星大学通信教育部学則（昭和42年4月1日）第57条第2項及び明星大学通信制大学院学則（平成11年4月1日）第40条第2項に基づき、明星大学（以下「本学」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するための組織及び運営について、必要な事項を定める。

(FD活動の組織)

第2条 FD活動は、以下の組織単位で行う。

- (1) 全学で行うFD
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程で行う部局別のFD
- (3) その他、必要に応じて学科等で行うFD

(FD委員会の組織)

第3条 前条の目的を達成するために、以下の委員会を置く。

- (1) 全学FD委員会
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程等における部局別FD委員会
- (3) その他、必要に応じて置かれるFD委員会

(全学FD委員会の任務)

第4条 全学FD委員会の任務は、次の各号に定める通りとする。

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 全学的なFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (3) 新任教員に対する全学的なFD研修
- (4) 授業に関する学生アンケートの企画及び活用方法の検討
- (5) 部局によるFD研修への協力・助言
- (6) その他全学的なFDに関連する事項

(全学FD委員会の組織)

第5条 全学FD委員会は、次の各号に定める者をもって組織する。

- (1) 学長が指名する副学長
 - (2) 各学部の教務委員長
 - (3) その他、学長が指名する教職員 若干人
- 2 前項第1号及び第2号に定める委員の任期は、その職制にあるうちとする。
- 3 第1項第3号に定める委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(全学FD委員会の運営)

第6条 全学FD委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、学長が指名した副学長とする。
- 3 副委員長は委員の互選により選出する。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 5 委員長に支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めたとき、委員会に委員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- 7 全学FD委員会の事務は、教務企画課が行う。

(部局別FD委員会の任務)

第7条 部局別FD委員会の任務は、次の各号に定める事項とする。

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
 - (2) 授業に関する学生アンケートの部局における活用方法の検討
 - (3) その他部局のFDに関連する事項
- 2 部局別FD委員会について必要な事項は、各部局で定める。

(部局別FD委員会の組織)

第8条 部局別FD委員会は、各部局別に次に定める者をもって組織する。

- (1) 学部FD委員会
ア 学部長

- イ 学部の互選により選出された者
- ウ 学部長が指名する当該学部所属教職員

(2) 研究科FD委員会

- ア 研究科長
- イ 研究科の互選により選出された者
- ウ 研究科長が指名する当該研究科所属教職員

(3) 全学共通教育FD委員会

- ア 全学共通教育委員会委員長
- イ 全学共通教育委員会の互選により選出された者
- ウ 全学共通教育委員会委員長の指名する全学共通教育委員会構成員

(4) 通信教育部FD委員会

- ア 通信教育課程長
- イ 通信教育代表委員会の互選により選出された者
- ウ 通信教育課程長が指名する教職員

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、大学評議会の議を経て、学長が定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学部心理学科

定員充足状況

心理学部心理学科は、50年の研究教育実績を持つ人文学部心理学科を母体として、平成29年4月に設置された。入学定員は、人文学部心理学科の110名から10名拡大して120名とし、「産業・組織心理学」領域を専門とする教員1名を増員した。新学部初年度の平成29(2017)年度入試では、志願者数が全ての入試区分において前年度比150%を超え、また、一般入試においては5倍から9倍という実質倍率を達成して、新入生140名を迎えることができた。平成30(2018)年度入試においては、一般入試とセンター入試を通じた実質倍率を平均10倍としつつ、新入生129名を迎えることができた。

公認心理師法施行規則(平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号)の発令に伴うカリキュラム改正

心理学部では、①心理学の専門知識を活用して一般企業等、社会の様々な場面・職域で活躍できる人材と、②対人支援や心理学の専門職に就くための基礎となる資質を備えた人材とを育成する。このため、学生が個々に設定する各自の学びの目標として、(a)人間科学、(b)産業・社会、(c)発達支援、(d)カウンセリングという4つの履修モデルを設定した。心理学部のカリキュラムを偏りなく修得することで、日本心理学会が認定する「認定心理士」ならびに「認定心理士(心理調査)」資格を取得できる。加えて、「心理学で拓くキャリア」を代表とする「キャリア形成科目」群を新設し、心理学の素養を職業的・社会的自立につなぐ学びをも促し、「就職に強い心理学部」、「資格取得に強い心理学部」の実現を目指している。

平成27年に成立した「公認心理師法」が、平成29年9月に施行され、同法に基づく公認心理師養成に係る法定科目が省令によって定められた。公認心理師養成に対応したカリキュラムを整備するために、別表の通り、科目名称変更、科目配当学年変更、新規科目開講を含むカリキュラムの改正を実施した。

教員組織の変更(増員)

平成30年4月に、新たに教授1名(臨床心理学領域)、准教授1名(実験社会心理学領域)を増員し、教員の総数は14名となった。

心理学部生の学びとその支援態勢

心理学部心理学科には、現在、1・2年生が在籍している。公認心理師資格対応後の心理学部心理学科のカリキュラムでは、1年生から、「心理学概論A」、「心理学概論B」、「心理学統計法1」、「心理学統計法2」、「心理学研究法」の必修5科目に加え、選択専門科目「産業・組織心理学」、「障害者・障害児心理学」、「健康・医療心理学」、「感情・人格心理学」の公認心理師法定科目の履修を可能としている。心理学への興味関心が高い入学直後の時期に、幅広い専門性に触れることができるカリキュラムは、学生の今後の学びに好影響を及ぼすことが期待される。

各学年とも、入学時に10名程度(上述の通り教員2名の増員が行われたため、クラスサイズは昨年度より小さくなった)のクラスに分けられ、各クラスに担任教員を充てて、履修指導・生活指導を行っている。必修科目の出席状況に問題がある(2回連続欠席、或いは、通算3回の欠席)学生については、心理学部の

教育研究活動支援のための職員組織である「心理学部支援室」を通じて当該学生と連絡を取り、担任による面接指導を行っている。

総括評価と所見

上記の通り、現段階では、心理学部心理学科は設置後2年目に入り、その設置の趣旨・目的を順調に達成しつつ、学生教育および研究を展開できているものと思量される。